学校番号	３０４

令和２年度　地理・歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新詳地理Ｂ」（帝国書院）「標準高等地図」(帝国書院)						
副教材等	フォトグラフィア　地理図説　（とうほう出版）						

人間社会を取り巻く自然環境に着目し、世界の各地域と比較しながら、その特徴を理解する。また、資源・産業等の事象を通して、社会のなかで生きる我々の活動を分析し、すでに学習した系統地理の知識をもとにして、世界の諸地域の様子を考察したい。現代の主な都市や地域がどのような過程のもとに形成されてきたかを考察し、文献だけでなく、映像を通じて視覚的に理解することに重点を置く。

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2　学習の到達目標

①現代世界の諸都市を地誌学の立場で考察し，発達の歴史的知識を養う。
①現代世界の諸地域を，他の地域や都市と比較しながら考察し，現代世界の地理的認識を養う
②地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○地理的諸事象や諸課題に興味･関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。 ○地理学習の意義を積極的に見いだし，そこで得た知識・技能・態度をより良い社会生活へ向けて，ないしは現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。	○地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析・考察･解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方･考え方）を見いだすことができる。	○地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。 ○文献や統計の分析，野外における諸事象の観察から，地理情報を見いだし，それを的確に地図化することができる。 ○地図化したことを，論理的に分析・解釈することで，レポートなどに的確にまとめることができる。	○地理的諸事象，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間・環境・地域），地理的見方・考え方を身につけている。
評価方法	○すすんで授業に参加し、発問に対して積極的に考え、答える意欲を重視する。	○課題プリント等を通じて、講義の中で整理したポイントを的確に理解し、考察する能力があるかを重視する。	○インターネットを利用して得られる地理的情報を収集して課題として整理する力を重視する。	○定期考査を通じて授業で習得した知識や理解度をチェックする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価基準	評価方法
1学期	世界地誌 中国・韓国	○計画経済から改革開放路線への変化に伴い何がもたらされたのか経済面・貿易面を中心に理解を深めるとともに急速に進む工業化と都市化の現状とそれによる影響ついて具体的事例をもとに理解を深める。 ○改革開放政策に伴いもたされた農業・農村の近代化，産業構想の変化について理解するとともに，地域格差が拡大していることも把握します。 ○中国国内の多様な民族構成と文化的多様性について理解した上で，経済発展に伴い生活文化が変容していることを理解します。 ○経済成長に伴い深刻化する環境問題の現状について理解を深めます。 ○世界に広がる中国の影響力について産業面や資源獲得競争の面から理解を深めます。 ○韓国の歴史から急速な経済成長に至るまでの変遷について歴史的背景を踏まえながら理解を深め、経済成長に伴う工業化や都市化の進展とそれに伴い生じる問題について理解を深める。 ○韓国の文化の独自性について理解を深め、近代以降の日本との関係について理解を深める。 ○韓国と日本とを国土構造，先端工業を事例に比較し，その共通点・相違点について理解を深める。	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a世界地誌を扱う中で,我が国と歴史的に関係が深い隣国である中国・韓国に関わる主題を意欲的に考察し、地理学習への関心を深めようとしている b世界地誌を扱う中で,我が国と歴史的に関係が深い隣国である中国・韓国について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 世界地誌を扱う中で,我が国と歴史的に関係が深い隣国である中国・韓国という設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d世界地誌を扱う中で,我が国と歴史的に関係が深い隣国である中国・韓国という設定された主題について、地理的条件やそこで生活する人々の文化を理解し、その知識を身につけるようにする。	作業プリント 小テスト 授業参加に対する積極性を評価 定期考査の成績を評価する

2 学 期	世界地誌 ヨーロッパ・北アメリカ	○EU統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解を深めるとともに，統合へ向けての歴史的変遷について理解を深める。 ○EUにおける産業の変化について農業と工業を指標に理解を深めるとともに，新たな産業地域形成を目指す動きについても理解を深める。 ○EUにおける都市間競争と大都市の再編について市場統合，通貨統合との関わりから理解を深める。 ○EUが抱える諸課題として地域格差と環境問題を取り上げ，その克服へ向けた取り組みと国家間の協力関係について理解を深める。 ○冷戦終結後のEUの東方拡大の現状と課題について理解を深めるとともに，欧州以外の地域との関係についても貿易面を中心に理解を深める。 ○北アメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解を深める。 ○北アメリカの特色である多民族多文化社会の形成過程について歴史的背景を踏まえながら理解を深める。	○

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	北アメリカとその他の地域	○北アメリカ経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について科学技術，鉱産資源，金融の側面から理解を深めるとともに，置かれている課題についても理解を深める。 ○北アメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから理解を深める。 ○アメリカにおける情報社会への移行に伴う大都市圏の拡大と地域分化の現状と課題について理解を深める。 ○世界地誌におけるその他の地域の自然環境やその地域の文化の多様性の特色について理解を深める。	○	○		○ ○	a世界地誌を扱う中で,アメリカとその他の地域に関わる主題を意欲的に考察し、地理学習への関心を深めようとしている b世界地誌を扱う中で,アメリカとその他の地域について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 世界地誌を扱う中で,アメリカとその他の地域という設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d世界地誌を扱う中で,アメリカとその他の地域という設定された主題について、地理的条件やそこで生活する人々の文化を理解し、その知識を身につけるようにする。	作業プリント 小テスト 授業参加に対する積極性を評価 学年末考査の成績を評価する

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。